

Young Adult Books Best Selection

～春を待つ～

水巻町図書館 2月号

まだまだ寒い日が続く2月です。でも暦の上ではもう春です。ちらほらと木々の新芽が顔を出しているのを目にすると、確かに春の足音が近づいてくるのを感じます。本でも読みながら本格的に暖かくなる日を待ちましょう。

「いちご」(J479.7ア)

作 荒井 真紀

春の果実と言えばやっぱりいちごですね。この本はそんないちごの育ち方に美しい絵を添えて書かれた科学絵本です。甘酸っぱいいちごを食べながら、このプチプチは何だろう、とじっと見つめてみましょうか。おいしそうな絵本なので一度開いてみてください。



「声のお仕事」(YF カワ)

著者 川端 裕人

主人公の結城勇樹はアルバイトをしながら声優オーディションを受ける毎日。そんなある日飛び込んできたのは人気アニメ番組の「犬」の声。制作の現場で様々な人や出来事に会いながら奮闘する結城君に人生の春はいつやってくるのでしょうか。



「だって春だもん」(J468 コ)

写真・文 小寺 卓矢

しん、と凍りついてしまったような森の中。おや？柔らかな光がさして、ポツンとひとつしずくが落ちました。動物や植物は知っています。すぐそこに春が来ていることを。光に包まれた写真絵本です。



「恋 川端康成・江戸川乱歩ほか」(YF ブン) 編 東 雅夫

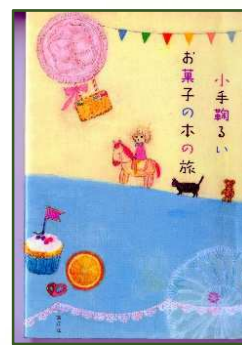
川端康成、泉鏡花など、文豪たちの手による「恋」にまつわる短編集です。難しい表現もありますが全てふりがなつきで、思わず読んでしまいます。ちょっと不思議な、ちょっと怖い8つの作品をお楽しみください。



「ほとんぼとんはなんのおと」(Eヒ) 神沢 利子 作

平山 英三 絵

雪が降り続く山のほらあなには、くまのおかあさんとふたごのぼうやが眠っています。ときどき何かの音に目が覚めるぼうやたち。寒い冬を越えて、春が来るときぼうやたちにはどんな音が聞こえるのでしょうか。長い間読み継がれている絵本です。



「お菓子の本の旅」(YF コテ)

著者 小手鞠 るい

14日に向けてお菓子の準備はしますか？この本は一冊の「お菓子の本」がなくなると女の子のお話です。ある図書館で女の子の本を男の子が間違えて持って行ってしまったことで変わっていく二人の人生。知らない同士の二人がどこでどうやって出会うのか…。読んだ後お菓子が作りたくなってしまいませんか。

「春の日や 庭に雀の砂あひて」

リチャード・ルイス/編

エズラ・ジャック・キーツ/訳

いぬい ゆみこ/訳

日本の俳句をもとに画家のエズラ・ジャック・キーツがカラーの絵本を作りました。春から夏にかけての日本の風景を詠んだ俳句が美しい絵と英語の文章を添えて紹介されています。情景を思い浮かべながらページをめくっててください。あなたも一句ひねってみたくありませんか！

(Y911.3 ハル)



「幸せを呼ぶ言葉」(Y159.8ウ)

監修 ウォルト・ディズニー・

ジャパン株式会社

アランの「幸福論」をもとに作られたこの本はどこから読んでも手に取った人が幸福に生きるための知恵をさずけてくれます。心にしみることばにふれて、温かい気持ちが春を呼び込んでくれるかもしれませんよ。そんな言葉をひとつ。

『天気の良い日こそ

いい顔をしよう』

